

横浜の企業 本県でモニターツアー展開

ウェブサイト制作などを手がけるともクリエイションズ（横浜市）は、秋田港に寄港したクルーズ船の乗客を対象としたモニターツアー事業を展開している。秋田の文化を体験してもらい、伝統工芸品などの消費拡大につなげたい考え。インバウンド（訪日客）の地方誘客に向け観光コンテンツ創出を支援する観光庁の補助事業に採択された。

渡邊桃伯子社長（66）

秋田市出身の「多くの人が秋田の伝統工芸に触れる機会を設け、世界に広めていきたい」と話している。

同社はVR（仮想現実）で県内の伝統工芸品を見てオンラインショップで購入できるアプリ「VRギャラリー」を開発し、

伝統工芸品 販売後押し



あきた舞妓の踊りを楽しむクルーズ船の乗客

ツアーでもアプリを紹介。渡邊社長は「VRギャラリーを使えば細かい部分もきれいに見えるので、クルーズ船客が秋田を離れた後でも購入につ

施。主催は能代観光で、午前の部には45人が参加。3グループに分かれ、組子細工や川連こけしの絵付けを体験したり、劇団わらび座の俳優からソラン節などを教わったりしたほか、あきた舞妓の踊りやお座敷遊びを楽しんだ。

米国から訪れたチャールズ・ディデュリクサンさんは「初めて秋田に来た。あきた舞妓はすごく美しくかわいらしかった」。夫婦で参加した横浜市の上山倫生さんは「秋田は今年2回目。普段できない経験ができた。竿燈の時期もクルーズ船で来る予定で楽しんだ」と話した。

モニターツアーは今後、クルーズ船が秋田港に寄港する9月28日と10月5日にも実施する予定。（神谷紗耶加）

クルーズ船客に文化PR

のか。

「観光庁の補助事業を知り、自社で開発していたVRギャラリーを生かした取り組みができないか考えた。以前、『KOU GEI EXPO i



渡邊 桃伯子社長（66）

n AKITA」で伝統工芸品を紹介するVRギャラリーのブースを出した経験があり、出身地である秋田の伝統工芸品や文化を世界に広めたいと思っていた。秋田県と横浜市がクルーズ船に関す

る連携協定を締結していたことや、秋田市を拠点に活動する市民団体『クルーズ船ファンクラブ』と知り合ったことで、クルーズ船とコラボし実施しようと考えた」

「モニターツアーの魅力は。

「観光客が秋田の伝統工芸品制作などを実際に体験できる。工芸品ワークショップでは自分で作った作品を持ち帰ることができ、思い出づりになる。モニターツアーではVRギャラリーをインストールしてもら

ので、秋田を離れた後も県内の伝統工芸品の購入につながる可能性がある」（聞き手＝神谷紗耶加）

経済
プラス

出身地の文化を
世界に広めたい

観光庁はインバウンド（訪日客）の増加が見込まれる中、地方への誘客や観光消費拡大を促進するため、観光コンテンツ創出を支援する事業を実施している。本県で取り組みを開始したのもクリエイションズ

ともクリエイションズ

なぜ秋田で取り組む